

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2010年第6号(週報・月報合併号)

2010年第6週(2月8日~2月14日)、月報1月

## ◆◆ 新型インフルエンザ関連情報 ◆◆

**インフルエンザの定点当たり患者報告数減少!** (5週: 3.12人→6週: 1.70人)

県全体の定点当たり患者報告数は、1.70人と減少しました。現在、警報・注意報レベル基準値を超えている保健所はありません。

例年であれば、季節性インフルエンザが流行する時期ですが、現在報告されている患者のほとんどは新型インフルエンザによるものだと考えられます。

新型インフルエンザでも、予防方法は季節性インフルエンザと同じです。手洗い・うがいをしっかりと行い、咳やくしゃみの際の「咳エチケット」も重要です。また、咳やくしゃみ等の症状がある人は、マスクを着用するようにしてください。

- [厚生労働省新型インフルエンザ対策関連情報](#)

(<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>)

- [和歌山県新型インフルエンザ対策本部を設置しました](#)

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/kikikanri/singatainhuruenza.html>)

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎** : **湯浅保健所管内で警報レベル基準値を超えています!** —

湯浅保健所管内の定点当たり患者報告数は6.33人(前週: 5.67人)で、警報終息基準値を超えています。県全体では、全国の報告数(過去5年間の同時期)と比較して、患者報告数は少なくなっています。湯浅保健所管内以外では、目立った患者の増加はみられませんが、冬場に流行する疾病ですので、今後の動向に注意が必要です。

なお、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベル基準値は8.0人(終息基準値: 4.0人)です。(定点当たり患者報告数)注意報レベル基準値はありません。

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の詳しい説明は、[こちら](#)**

— **RSウイルス感染症** : **御坊保健所管内の患者報告数が多い!** —

RSウイルス感染症は、日本では冬場に多く見られる呼吸器感染症です。現在、御坊保健所管内(8.5人)で定点当たり患者報告数が多くなっているため、今後の動向に注意が必要です。なお、RSウイルス感染症には警報・注意報レベル基準値はありません。

**RSウイルス感染症の詳しい説明は、[こちら](#)**

## － 感染性胃腸炎：患者報告数、少し減少！ －

例年、冬季に患者報告数が増加する傾向があります。県全体では2009年51週以降、増加傾向となってきましたが、今週の県全体の定点当たり患者報告数は12.06人（前週：13.84人）と若干減少しました。

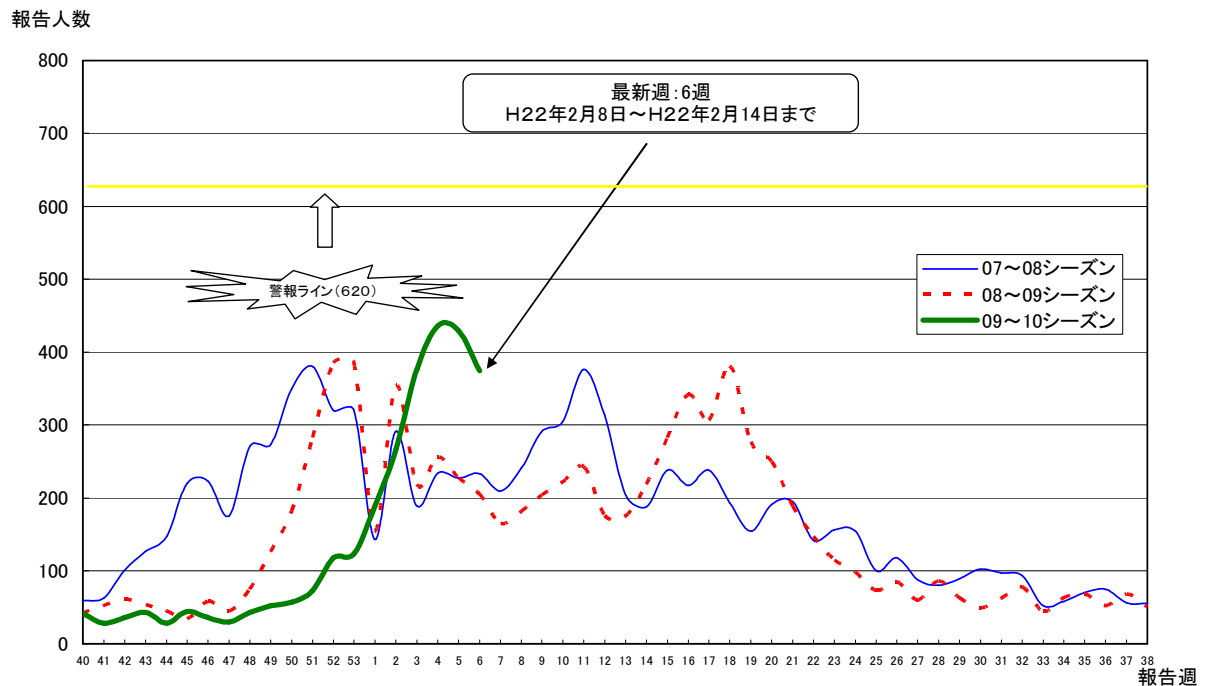
保健所別の患者報告数は、和歌山市保健所管内：18.00人（前週：22.78人）、海南保健所管内：13.50人（前週：18.00人）、岩出保健所管内：16.75人（前週：20.00人）と、終息基準値を超えています。

この時期の感染性胃腸炎は、ウイルスが原因で起こることが多いといわれています。中でも、ノロウイルスが原因で起こる胃腸炎は、感染力が強く、集団発生を起こすことが、しばしばみられます。

手洗い等の予防に加え、下痢・嘔吐時の汚染物処理を適切に実施することが、感染拡大防止には重要です。（ノロウイルス情報：[ノロウイルスQ&A：厚生労働省](#)）

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人（終息基準値：12.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値はありません。

### 感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



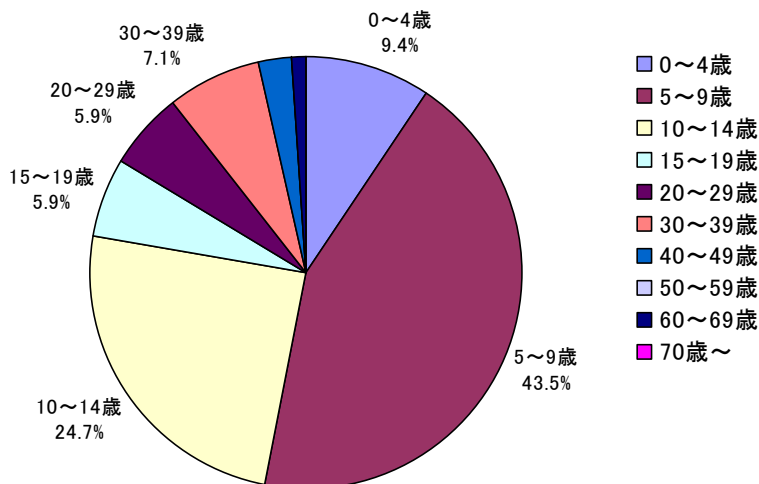
**－ インフルエンザ ： 患者報告数は減少 －**

県全体の定点当たり患者報告数は、前週と比較して減少しました。(5週：3.12人→6週：1.70人)

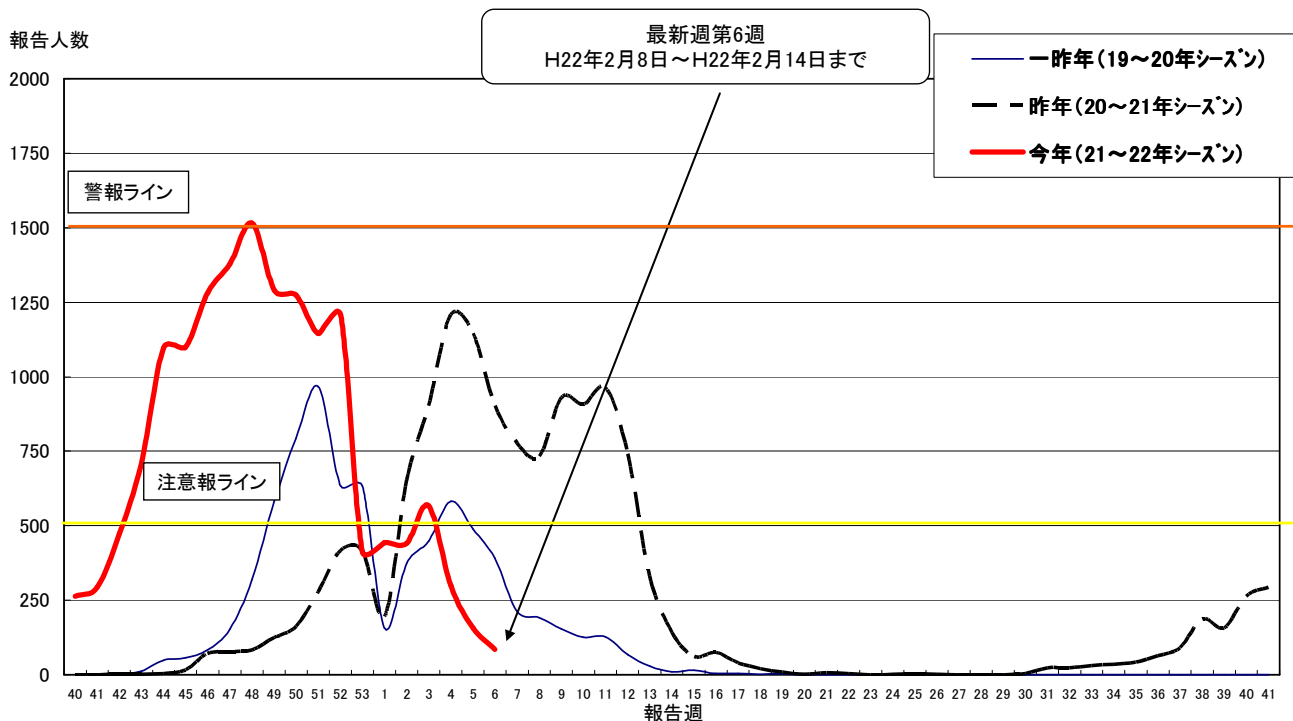
現在、警報・注意報レベル基準値を超えている保健所はありません。年齢別の患者発生状況は、5～9歳及び10～14歳の報告が多い状況です。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人(終息基準値：10.0人)、注意報が10.0人です。(ともに定点当たり患者報告数)

**インフルエンザ患者の年齢分布  
(第6週:2/8～2/14)**



**インフルエンザ定点報告推移(県内50定点医療機関集計分)**



## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
  - 1類感染症：報告はありませんでした。
  - 2類感染症：報告はありませんでした。
  - 3類感染症：報告はありませんでした。
  - 4類感染症：報告はありませんでした。
  - 5類感染症：報告はありませんでした。
  
- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	28
つつが虫病	5
レジオネラ症	1
急性脳炎	1
後天性免疫不全症候群	1
梅毒	1
風疹	1

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（湯浅保健所管内）  
感染性胃腸炎（和歌山市、海南、岩出保健所管内）

#### 注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ、小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	85	-	2	1	3	-	2	9	12	7	8	1	21	5	5	6	2	-	1	-	-
	定当	1.7	-	0.04	0.02	0.06	-	0.04	0.18	0.24	0.14	0.16	0.02	0.42	0.1	0.1	0.12	0.04	-	0.02	-	-
RSウイルス感染症	報告	70	15	12	24	10	5	1	1	1	1	-	-	-	-	-						
	定当	2.26	0.48	0.39	0.77	0.32	0.16	0.03	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	報告	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
	定当	0.1	-	-	-	-	0.06	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	41	-	-	-	3	1	8	11	5	3	4	4	2	-	-						
	定当	1.32	-	-	-	0.1	0.03	0.26	0.35	0.16	0.1	0.13	0.13	0.06	-	-						
感染性胃腸炎	報告	374	4	11	37	26	39	38	41	39	31	23	16	47	3	19						
	定当	12.06	0.13	0.35	1.19	0.84	1.26	1.23	1.32	1.26	1	0.74	0.52	1.52	0.1	0.61						
水痘	報告	39	-	1	2	8	9	10	3	1	3	-	-	2	-	-						
	定当	1.26	-	0.03	0.06	0.26	0.29	0.32	0.1	0.03	0.1	-	-	0.06	-	-						
手足口病	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	定当	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-						
突発性発疹	報告	12	1	5	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	定当	0.39	0.03	0.16	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳	報告	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	定当	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	報告	18	-	-	1	3	4	2	2	2	2	-	-	1	-	1						
	定当	0.58	-	-	0.03	0.1	0.13	0.06	0.06	0.06	0.06	-	-	0.03	-	0.03						



<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-: 患者報告がない、…: 保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本支所
インフルエンザ	報告	31	2	6	10	2	13	16	1	4
	定当	2.07	0.67	1	1.67	0.4	4.33	2.29	0.33	2
RSウイルス感染症	報告	23	1	9	-	2	17	9	9	-
	定当	2.56	0.5	2.25	-	0.67	8.5	2.25	4.5	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	1	-	-	-	1	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	10	5	1	-	19	3	1	2	-
	定当	1.11	2.5	0.25	-	6.33	1.5	0.25	1	-
感染性胃腸炎	報告	162	27	67	48	12	2	27	29	-
	定当	18	13.5	16.75	12	4	1	6.75	14.5	-
水痘	報告	11	3	9	6	3	2	3	2	-
	定当	1.22	1.5	2.25	1.5	1	1	0.75	1	-
手足口病	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-
突発性発疹	報告	4	-	4	-	1	1	2	-	-
	定当	0.44	-	1	-	0.33	0.5	0.5	-	-
百日咳	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	7	2	1	1	3	2	-
	定当	0.22	-	1.75	0.5	0.33	0.5	0.75	1	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	5	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	5	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…













＜院内感染症の動向＞調査の対象となる感染症の中では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多い状況が続いています。これは、全国の状況と同じです。その他の感染症の報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と非常に少ない状況にあります。

【12月の性別・年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

報告数・定点当り報告数、年齢階級・疾病・性別(基幹)(総数)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	25	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	2	18
	定当	2.27	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	0.09	0.18	0.09	0.18	1.64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.27	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2010 年第 6 号

発行日：平成 22 年 2 月 18 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail [e0503001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0503001@pref.wakayama.lg.jp)

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。